

健康・福祉の充実

健やかに、元気に暮らすことができるまちをつくります

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 市町村医師養成事業…………… 300万円
- 基本・長寿健康診査事業…………… 2,101万円
- 健康教育・相談事業…………… 106万円
- 栄養改善事業…………… 10万円
- 保健推進員設置事業…………… 116万円
- 食生活改善・運動普及推進員養成、育成事業…………… 42万円
- 健康づくり事業…………… 22万円
- 地域保健推進事業…………… 36万円
- 予防接種事業…………… 5,684万円
- 人間ドック助成事業…………… 155万円
- 妊婦個別健康診査事業…………… 3,911万円
- 妊産婦医療費給付事業…………… 2,156万円
- 介護給付・訓練等給付費支給事業…………… 3億5,228万円
- 保育料等滞納整理調査員設置事業…………… 322万円
- 放課後児童健全育成事業…………… 9,181万円
- 次世代育成支援対策交付金事業…………… 7,827万円
- 老人保護措置委託事業…………… 2,929万円
- 福祉バス運行事業…………… 1,147万円
- 介護保険給付事業…………… 21億385万円
- 要援護高齢者実態把握事業…………… 805万円

健康づくりへの支援を

田屋 美穂さん (大釜南)



予防できる病気は、予防できたらよいと思います。

子どもの予防接種では、まだまだ全額負担のものも多く、1回の接種金額も高く次々受けるのは大変なものです。年齢によっていろいろな予防や健康診査があると思いますが、誰でも予防できる病気を予防して、健康で元気に暮せたらよいと思います。そして、子どもたちが安心して暮せる滝沢村であって欲しいです。

問 保健推進員設置事業における保健推進員の定員増の理由は、現在77名の方をお願いしております。22年度が改選期で、地域の人口割合により5名の推進員を増員して82名にする予定です。

問 保育所運営委託事業は去年と人数は同じだが、額が下がっているがその理由は、

答 国の基準単価が改正になり2,000万円ほどの減となっております。保育料等滞納整理調査員設置事業の内容は、

問 職員も一生涯雇用等について頑張っているが、思うようにいかないということで、専門的な形で今回滞納整理調査員を設置し、収納率の向上に努めていきます。

問 民生委員に対する仕事があふれていると何が状況は、

答 高齢者あるいは経済的な部分の相談が多くなり、活動があふれている状況です。

問 障害者地域生活支援事業の具体的な支援策の内容は、

答 市町村の実態に合わせてサービスメニューが選べて、村では、例えば訪問入浴サービスなど約20近いサービスメニューを実施しています。

社会基盤・環境の整備

だれもが暮らしやすいまちをつくります

主な事業 (千円以下切り捨て)

- 木造住宅耐震改修支援補助事業…………… 180万円
- 都市計画支援システム構築事業…………… 1,270万円
- 一般公園維持管理事業…………… 827万円
- 総合公園管理事業…………… 2,657万円
- 道路台帳システム構築事業…………… 1,430万円
- 村道改修事業…………… 7,024万円
- マイロード支援事業…………… 342万円
- 橋梁維持補修事業…………… 518万円
- 河川維持管理事業…………… 2,556万円
- 下水道維持管理事業…………… 2億3,691万円
- 基幹水道施設整備事業…………… 4億5,320万円
- 交通政策推進事業…………… 27万円
- いわて銀河鉄道指令システム整備補助事業…………… 2,312万円

みんなの力で、自然を守り、安全で住みよいまちをつくります

- 盛岡地区衛生処理組合負担金…………… 2億6,936万円
- 廃棄物減量等推進事業…………… 876万円
- 溶融施設管理運営事業…………… 6億4,360万円
- 交通指導員設置事業…………… 1,195万円
- 盛岡地区広域行政事務組合負担金…………… 4億1,822万円
- 消防団等活動事業…………… 6,087万円

問 土地区画整備費の組合事業に対して技術的支援の内容は、組合の事務局として、全国の情報とか、県との相談など協議しながら一体となって実施しています。

問 国道4号線交差点接続部整備事業の見通しは、

答 村道部分は22年度に詳細設計、それから用地測量を行う予定です。28年度の国体に間に合うように、27年度までに国道、それから関連する村道3路線について完了するよう頑張っています。

問 浄化槽設置整備補助事業は浄化槽40基設置で十分か、

答 現在の経済状況で新築が年々減っている状況から、40基程度と予測しております。

問 廃棄物減量等推進事業の具体的内容は、

答 不法投棄、各ごみ集積所等の様子を見ていただく環境監視員4名を非常勤でお願いしております。ごみの減量を進める廃棄物減量等推進協議会委員9名で、年2回協議会を開催しています。

問 交通指導員設置事業が昨年よりも減額になっている理由と、人員をどう見込んでいるのか、

答 予算については、前年度実績で予算化しております。指導員は現在35名の定員に対して22名です。

ここが知りたい

22年度予算総括

問 全体として村長が政策的な判断をもって、私はこれをやるのだというふうな形で具体化した事業というのが見えませんが、どういう事業を村長としては判断をしたのか。

答 442事業のうち40事業が新規で行われます。その中で、さらに例えば3つの重点事業で、滝沢ブランドの創出、絆でつながる地域コミュニティ、さらに若者定住がそれぞれあります。それらについては、ことし1年間かけて精査していき、またそこにさらに重点的にお金を投資していきたいと思っております。

問 住民が滝沢ブランドとして納得し、いろいろな方に勧められる状態になっていくために、どのようなピーアールを考えているのか。

答 重点事業でありますブランド推進という大きな視点の中で、それぞれ産業政策課、企業振興課、商工観光課、農林課、すべての領域にわたる事業がございます。今後庁内の方向性等を集約し、さらにピーアールあるいは情報提供等するものがあれば、いろいろな形で予算措置等についてもご相談したいと考えています。

問 これまでも雇用の確保、産業振興に取り組んできましたが、それ以上に若者定住促進ということどうやってきたのか、

答 新たなことで手探り状態もあるということからすると、今後の大きな芽となり、花を開かせるように、発展しそうなものについては余り待たずに、即時対応しながら予算措置をしてやっていきたいと思っております。